

東京学芸大学附属図書館報

図書館ニュース

Vol.28, No.2 (1999.12)

活字情報の多様化

鶴原 喬

情報伝達の速さを文化の尺度の1つに挙げていたソニー創業者にして日本経済の顔でもあった盛田昭夫氏が10月3日78歳で死去された。現在は情報通信技術の発展が産業革命に匹敵する変革を高頻度にもたらし続けており、遺伝情報量の増大が生物進化をもたらしたように、文化情報量の増大が社会進化に拍車をかけているとあって良い。1960年代にアメリカで軍事的な理由で「ある程度通信回線を破壊されても、コンピュータ間の最低限の通信を確保する」という目的で開発が始まったインターネットは、今はもはや、100年以上に渡って基幹的なネットワークだった電話網に取って代わりつつあり、高度情報化社会の基盤になると予想される。

ここで、この情報化社会の中の、新聞・辞書辞

典・テキストの3点について触れてみたい。

新聞：活字情報化に拍車がかかっている昨今、テレビは限りなく実況を目指し、新聞もより新鮮なニュースを流すことに力を入れるようになってきている。新聞の特徴としてはテレビよりもニュースを深く掘り下げていることが挙げられる。朝日新聞10月14日付けの記事によると、全米に約1,500ある日刊新聞のうち、1,000紙ほどがインターネットにニュースを流しているという。新聞とインターネットとの共生は、すでに始まっているのである。その背景には、インターネットは、新聞から読者を奪うものではなく、読者を新聞により引き付けさせるものだという見方が増えてきたことにある。米国新聞協会の調査では、新聞社な

目次	活字情報の多様化(鶴原 喬).....	1
	ネットワーク CD-ROM データベースの使い方 - 雑誌記事索引 -	3
	『東京学芸大学五十年史』をホームページ上で公開	6
	BIBLIOFILE 37 : DNA と新聞情報.....	7
	お知らせコーナー	
	飲物の自動販売機が入りました！	10
	本学刊行物の配置場所が変わりました	10
	平成 11 年度基本的学術図書購入決定リスト.....	11
	学生用視聴覚資料の購入について	11
	平成 11 年度図書館暦(10月～3月).....	12

どがインターネットに作っているニュースのページ（インターネット新聞）を読んでいる人の8割は、活字の新聞もインターネット新聞以上の頻度で読んでいるのだという。若い世代が新聞を読まなくなったというが、アメリカでは、若い人たちがインターネットに深く関われば関わるほど、新聞をよく読む傾向が出ているという。インターネットが、テレビなどの娯楽メディアから、インターネット新聞やメールの相互交流などの情報の世界へと人々を移動させているという指摘と合わせて考えると、確かにうなずける傾向である。5年前の94年には、インターネット新聞は世界で20ほどだったが、現在は、5,000ほどになり、そのうち2,800がアメリカで作られている。インターネットの普及で新聞の読者が減少するのでは、ということも考えられたが、知的好奇心のある人々にとっては、インターネット上の速報的情報と、質の高い新聞の併用が必須となるのであろう。

辞書辞典：同じく10月21日付けの新聞紙上で報じられていたが、18世紀以来、英文の「知の宝庫」とされてきた『ブリタニカ百科事典』（全32巻）の出版元エンサイクロペディア・ブリタニカは、「全巻を無料でインターネットで提供する」と発表した。このような高額な権威ある百科事典も、情報化の波に乗り遅れたため、サイトの広告料で利益を上げようと懸命に努力しているのである。「世界で最も歴史のある、最大の英語百科辞典」とされるブリタニカは、1989年に6億5000万ドルの売り上げを記録したが、1993年にはマイクロソフトが安価でカラフル、しかも引き易い百科事典のCD-ROMを出したために売り上げが急減した。現在では、電子化されたCD-ROM辞典は、百科事典だけでなく、英和・和英・その他の言語辞典、理化学辞典、世界人名辞典、生物学辞典、医学用語辞典など100種以上が販売されている。特に辞書、辞典の類はパソコンで文章を作成する際に引用し易いこともあり、印刷された辞書で調べるより利点が多い。また、CD-ROMよりもアクセスが速いRAMがより便利であるわけで、今日使用されているCD-ROMに入っている情報以上の新鮮な情報を瞬時にして得ることが出来るインターネットサ

イトと合わせて、目的に応じてインターネット、CD-ROM、活字本を選択するようになった。検索する範囲の広さと情報の新しさではネットワーク、正確な情報を確実に得るにはCD-ROM、落ち着いて読むには目にやさしい本を選択することになる。このことが象徴するように、出版、放送、通信メディアをもっとも効率良く代替するのがコンピュータネットワークであることは周知のことだと思われる。

テキスト：絶版本や在庫が殆ど無い本、出版社にとって出版に踏み切りにくい需要の低い専門家向けの学術書などは、手に入れるのが難しかったわけだが、今はデジタル保存された書籍データを元に、注文時点で印刷・製本する「オンデマンド（On-Demand）出版」、Demand、つまり注文に応じて、本が出版されるようになった。受注があった時点で初めてデジタルデータから印刷をし、簡易製本する。売れ筋の本ならば従来型の印刷の方がコスト面で有利だが、月に数冊しか売れない専門書や学術資料などは、オンデマンド出版であれば余計な在庫を抱えずに済む。大学図書館でもこのような本のための情報を提供したり、またこの方法で作成された本を蔵書としている。そしてこれは、本という膨大な文化財産を場所を取らずに、かつ確実に保存するので、図書館の使命としては理想といえる。

アメリカでは、このオンデマンド出版に類似の形態でテキスト（教材）を作成している大学が増加している。

最新でかつカスタマイズされた本を必要とする教職員は、自前でレポート、教科書からの抜粋、学術雑誌やその他資料などからなる教材を作成していたが、それらを学生がコピーするとなると時間が掛かり、また、著作権などの問題も生じてくる。ニューヨーク州にあるCornell大学のCampus Storeでは、著作権などの問題を処理するソフト（Xerox PackBuilder）を使用し、教材をデジタルデータとして記憶し、Campus Storeで編集・印刷・製本をする。これによって作製された教科書はCustom BookまたはCourse Packsと呼ばれており、Cornell大学の最近の学期で、350種類の

教材が計 17,800 冊も作られている。

活字情報の表示方法が紙からディスプレイへと変化しつつある今日だが、プリントアウトして紙上で読む方が目にも優しく、加えてディスプレイ上で読む速度より速いといわれている。

いずれにせよ文字は何千年も使用され、人類の繁栄はこの文字に依存しているといっても過言で

はない。すなわち、膨大な蔵書を有する図書館は巨大な「システム」である。システムたる図書館は、インターネットを含めたすべての情報を図書館資料として扱い、教員養成系大学の基幹校として如何にアウトプットしていくかが、21世紀の大きな課題となるであろう。

(つるはら・たかし 情報処理センター長)

ネットワーク CD-ROM データベースの使い方

- 雑誌記事索引 -

1. 「雑誌記事索引」CD-ROM

図書館では「ERIC」と「PsycLIT」という論文記事索引データベースをネットワーク CD-ROM サーバーに載せて提供してきましたが、今年度の新・図書館サブシステムの更新に合わせて「雑誌記事索引」をそれに加えました。

「雑誌記事索引」CD-ROM は国立国会図書館が収集した雑誌のうち、国内で発行された学術雑誌、大学紀要を中心にした国内最大の論文記事索引データベースの CD-ROM 版です。記事採録の対象誌は 1996 年 5 月までが約 3,000 誌、1996 年 6 月以降が約 5,500 誌、現在は約 7,000 誌を収録対象にしています。収録年は 1975 年以降で、年 6 回更新されています。

昨年度まで「雑誌記事索引」CD-ROM はスタンドアロンで使用していましたが、使うのに少し並んで待たなければならない状況でした。しかし、現在では図書館に設置された多目的検索用端末(1階に8台、2階に6台)であればどれを使っても「雑誌記事索引」を検索できます。また、学内ネットワークに接続されたパソコンでも初期設定をしておけば利用できるようになりました。(初期設定の方法は、図書館ホームページのトップメニューから「データベースサービスメニュー」「当図書館 CD-ROM 検索システム」に進み、「CD-ROM を検索するためのパーソ

ナル・コンピュータの設定方法」をご覧ください。)

皆さんから受けるご質問の多くに「 に関してどんな文献があるか知りたい」といったものがあります。そうした論文そのものを主題から探すときに、日本語で書かれたものを対象にするのであれば、先ずこの「雑誌記事索引」の利用を勧めることが多いと思います。

2. 使い方

「雑誌記事索引」CD-ROM を使うには、図書館ホームページで「当図書館 CD-ROM 検索システム」まで進み、「CD-ROM Server に接続する」をクリックします。CD-ROM サーバーに接続されたら、リンクを辿って「雑誌記事索引」を選択します。

2-1 CD-ROM の選択

現在、収録年の範囲毎に「雑誌記事索引」の CD-ROM は 6 枚に別れていますので、まず使用する CD-ROM を選択し「決定」ボタンを押します(図 1)。「ERIC」などと違い、一度に複数の CD-ROM にまたがる検索はできま



図 1

せん。ただし、直前の検索条件や検索履歴は保存されていますので、CD-ROMを取り替える度に検索条件をキーボードから入力し直す必要はなく、メニューの「設定」-「CD選択」でCD-ROMを選択し直し「検索実行」する、という繰り返しを必要な期間のCD-ROMでおこなえばよいのです。

2-2 検索の実行

使用するCD-ROMを決定すると、画面はメニュー方式の検索画面になります(図2)。このほかにコマンド方式の検索画面もありますが、今回はメニュー



図2

方式で説明をしていきます。

検索項目の入力ボックスには、「論題中の単語」、「論題名」、「著者名」、「分類コード」、「雑誌名」などがあり、必要な項目に検索キー(探す手がかりとなるキーワード)を入力して「検索実行」ボタンを押します。例えば、「論題中の単語」に「環境問題」と入力して検索すると、論題中に「環境問題」と書かれて



図3

いる記事が一覧できます(図3)。また、検索キーが曖昧な場合は、わかる範囲で入力して「参照」ボタンをクリックして下さい。「用語一覧」ダイアログボックスがでてきて関連した用語を一覧できます(図4)



図4

ので、その中から選択して検索することもできます。

なお、一つの項目に複数の検索キーからなる検索式を入力して検索したり、

複数の入力ボックスに入力して、検索項目間のANDやORを指定することもできます。

「 に関してどんな文献があるか知りたい」といった場合に使うのは、「論題中の単語」と「分類コード」ですが、「分類コード」は「雑誌記事索引分類コード表」から探さなければいけませんし、1995年12月以前のデータにしか付けられていません。また、「論題名」とは、主論題名全体と副論題名全体の単位で検索するものですので、論題名がハッキリ分かっているときに使用します。

変わった使い方として、「雑誌名」「ISSN」「(国会図書館の)請求記号」などを使って雑誌を特定すると、その雑誌の目次を通覧するのと同じようなことができます。

2-3 検索結果の表示と印刷、ダウンロード

検索結果が1件だけですと詳細表示(図5)されませんが、複数あると1件1行の一覧表示(図3)になり



図5

ます。一覧表示画面のとき、一般のWindowsのアプリケーションと同様に範囲選択や複数の選択をすることができ、「選択一覧」ボタンを押すと不要なものが除かれ、必要な結果だけが表示されます。一覧表示されたデータはダブルクリックすると詳細表示されます。

また、検索した結果はメニューの「ファイル」-「印刷」で印刷したり、メニューの「ファイル」-「ダウンロード」でフロッピーディスクに保存することができます。

2-4 雑誌記事の入手

入手したい雑誌記事が出てきた場合、「OPAC」や「WEBCAT」などで何処にその掲載誌が所蔵されているのか調べます。もし本学に所蔵されていない場合は、通常は所蔵図書館を確認した後で、相互利用カウンターで複写依頼するということになります。しかし、「雑誌記事索引」は国会図書館の所蔵雑誌をもとに作成されているため、「雑誌記事索引」で検索されたものは、「NDL請求記号」も教えていただければ複写の申込みができます。

3. 「雑誌記事索引」を補うもの

「雑誌記事索引」には国内で刊行されたあらゆる雑誌が収録されている訳ではありません。現在は約7,000誌収録しているといっても、国会図書館が収集している雑誌の2割に足りません。一般週刊誌や業界誌などといったものは収録されていません。このため他のデータベースや文献目録を調べて「雑誌記事索引」を補っていく必要がでてきます。最後に図書館の2階の参考図書コーナーにあるものをいくつかご紹介してみたいと思います。

3-1 昔の雑誌記事

まず、1975年以前の文献は冊子体の「雑誌記事索引」を使わなければなりません。冊子体の「雑誌記事索引」は1948年9月の受入雑誌分から編纂が開始され、幾たびの変遷を経て、1995年12月受入雑誌分までで冊子体の刊行が中止されました。冊子体の『雑誌記事索引 人文・社会編』には5～10年毎に累積索引版(P039-1/1J)が作成されています。

さらに古い時代のものを探すときには、『雑誌索引：戦前雑誌記事索引，復刻版』(P039-1/8)『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成 人文科学編』

(039/Ko83)などがあります。

3-2 短期大学の紀要

1996年以降は短期大学の紀要も「雑誌記事索引」に収録されてきましたが、それ以前は『全国短期大学記事論文索引』(039/To72)を調査することになります。また、学会や大学などの年報類を収録した『学会年報・研究報告論文総覧』(041.03/N71)も「雑誌記事索引」を補うため刊行されたもので、社会科学篇と教育・生活・情報篇を所蔵しています。

3-3 一般週刊誌

一般週刊誌の記事索引では『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』(029.9/O94)が有名ですが、図書館ニュースv.26,n.3/4(1998年4月)で既にご紹介しています。1992年以降はスタンドアローンのCD-ROMで利用できます。また、この他に『総合誌記事索引』(025.1/N71)などがあります。

商業誌・業界誌分野では1979年8月より「雑誌記事索引：経済・産業編」や「Joint月刊雑誌記事索引」として刊行されていたものがありますが、これも1995年に冊子体の刊行が中止されてオンラインデータベースのみに変わりました。図書館には『経済産業誌記事索引：80/84 Joint 累積版』(330.3/Ke29)があります。

3-4 各分野の文献目録

これまで包括的な雑誌記事索引を紹介してきましたが、各分野でも、例えば『地理学文献目録』(290.3/J51)、『教育研究論文索引』(P370.3-1/1)、『国文学年鑑』(P91-9/3)といった文献目録が刊行されています。「雑誌記事索引」では収録対象誌となっていないものも多く含まれています。論文そのものを主題から探す場合、「雑誌記事索引」と合わせてこうした各分野の文献目録は必ず調査する必要があります。

(情報サービス課参考調査係)

『東京学芸大学五十年史』をホームページ上で公開



『東京学芸大学五十年史』(冊子体とCD-R)

本学は、平成11年5月31日に大学創立五十周年を迎えました。その記念事業の一環として、東京学芸大学創立五十周年記念誌編集委員会(委員長 竹内誠名誉教授)編集による、『東京学芸大学五十年史』が、記念事業後援会から刊行されました。

この五十年史は通史編と資料編から構成される総計約1,200ページに及ぶものであり、平成8年3月か



『東京学芸大学五十年史』ホームページ

ら編集を開始し、計20回に及ぶ編集委員会等を経て発行されたものです。すでに全国の国公立大学や都道府県立図書館、都道府県教育委員会等に配布されましたが、冊子体の刊行にあわせて電子出版化を行い、PDFファイル形式のCD-Rを作成しました。

今回の出版に際して、編集委員会の事務局を図書館が担当し、委員会発足当初から電子出版の企画を立案するとともに、本学図書館における電子図書館機能強化の一環として、この事業を位置付けました。

特に、冊子体の出版を担当する業者との契約の中に、本文情報データのPDFファイル化を行うことを盛り込み、図書館側での電子化の作業を極力軽減しました。

また、ホームページの公開を前提に、編集委員会において、著作権処理を行い、必要に応じて各編集委員の執筆原稿やその他関係者の掲載資料等に関して、ホームページ上で公開を行うことについて事前に了解をいただきました。

CD-Rから全文情報を取り込み搭載するサーバーは、本学図書館の電子情報検索サーバーとし、図書館ホームページ、ならびに東京学芸大学ホームページからリンク付けをしました。

この全文情報を閲覧するためには、各端末に"Acrobat Reader"というソフトが必要となりますが、ホームページ上からダウンロードできる機能を付けてあります。

なお、本ホームページ上の全文情報データ等の利用に際しては、著作権法の遵守をお願いします。

(五味照明 情報管理課図書館専門員)

DNAと新聞情報

1. DNAとは

図書館ホームページの「図書館最新情報」でもお知らせしましたが、7月から朝日新聞記事データベース『DNA』の図書館向けバージョンである『Digital News Archives for Library』を導入しています。これは1984年8月以降に朝日新聞に掲載された260万件を超える一般記事のオンラインデータベースです。記事の見出しおよび本文の全部を検索の対象にし、記事全文がコンピュータ上で閲覧できるようになりました。

これまでも朝日新聞については『CD-HIASK』という縮刷版に相当するCD-ROMデータベースをスタンドアロンで提供してきました。しかしCD-ROM版の場合、例えば1998年1月から12月のデータを収録したCD-ROMの納入時期が翌年の5月頃なのに比べ、DNAは当日の朝刊に掲載された記事から検索の対象になりますので、最新のデータを検索したいという要望に応えられることになりました。また、CD-ROM版は単年度毎にパッケージされているため、複数年にまたがった検索ではいちいちCD-ROMを取り替えて検索していく不便がありました。DNAでは一回の検索だけで済むようになりました。

他にもDNAの特徴がいくつか挙げられます。通常のデータベースの検索方式ではその記事にあらかじめ登録されたキーワードを検索エンジンが探してくるというのが一般的ですが、DNAでは全文検索方式をとっているため、「珍しい」「面白い」といった形容詞などでも検索が可能です。また、新聞の縮刷版では東京本社発行の最終版が基本になるため地方版を見ることができませんでしたが、DNAでは県庁所在地をカバーする地方版も収録されています。この他に『AERA』も収録されています。

さて、今回はDNAの使い方とともに、図書館で利用できる新聞情報についても少しご紹介していきたいと思います。



図1

2. DNAの使い方

DNAが使えるのは図書館2階に設置された多目的検索用端末の内の1台で、「Digital News Archives for Library」と緑色のシールが貼ったものです。

ブラウザが立ち上がっている状態で、「お気に入り」から「DNA f L」を選べばDNAのスタート画面(図1)に入り、画面の指示に従って進んでいくと検索画面(次頁の図2)になります。

検索対象として「見出し」、「本文」、「掲載年」、「面名前」の4項目の入力ボックスがありますが、「見出し」、「本文」には検索する用語を入力します。「掲載年」、「面名前」ではプルダウンメニューで「全て」、「1998年」や「国際」、「家庭」などの用語が選択できるようになっています。

試しに、「学芸大学」という語句を「見出し」に入力し、「掲載年」を1999年に限定して検索すると4



図 2

件が検索(図3)できました。また、同じものを「見出し」でなく「本文」に入力し、同じく1999年に限定して検索すると38件が検索できました。

このように同じ語句であっても、「見出し」で検索するよりも「本文」で検索した方が検索結果は一般的に多くなります。あくまでも、当該語句がその「見出し」または「本文」に含まれるかどうかを検索するので、はっきりとした見出しが判明しない場合は、複



図 3

数の語句の組み合わせで本文を検索したほうがいいようです。また、同じものを指す語句でも「学芸大学」、「東京学芸大学」、「学芸大」、「東学大」での検索結果は当然全く違ったものになります。

さて、複数の語句の組み合わせで検索する場合、AND検索をおこなう時は二つの検索用語を「&」(半角・全角どちらでも)か「」(空白)で区切って入力(例:文字&ネットワーク)して下さい。OR検索は、「+」(半角の"プラス")で区切って入力(例:現代文化+映像文化)して下さい。NOT検索は、用語の前に「#」(半角文字で)を付けて入力(例:「インド」を検索したいが、「インドネシア」は不要 インド#インドネシア)して下さい。また、「()」(半角の丸かっこ)を使うことでAND、OR、NOTなどの組合せた形での検索(例:「香港」または「シンガポール」の「教育」について検索 (香港+シンガポール)&教育)が可能です。

「天声人語」などの朝日新聞紙面の定番ものは「見出し」の検索で「天声人語」のように入力します。書評も「見出し」の検索で「書評」と入力します。

なお、社外筆者の執筆した記事では、検索できても著作権の関係で本文が表示されないものがあります。また写真もどのような写真かという説明が入っているだけで、写真自体は表示されません。こうした場合は、『朝日新聞縮刷版』の当該箇所を見に行く必要があります。

3. 図書館の新聞情報 - 今日の新聞

皆さんは、毎日、新聞のどこを読んでいるのでしょうか。政治面ですか、スポーツ面ですか、家庭欄やテレビ欄もあります。時事の評論を求めて社説に目を通すかもしれません。訃報から読み始める人もいます。人によって興味は違いますが、私たちは新聞などを通じて興味ある事柄の動きや世の中の出来事＝ニュースを早く知ろうと努めていることは同じです。図書館でもこうした要望に応えるため、1階の新聞閲覧室で当日の新聞を閲覧できるようにしています。また、先々月の分までの原紙は新聞閲覧室に保存しています。

以下は図書館で購読中の主な新聞です。
(全国紙)朝日新聞、産経新聞、日本経済新聞、毎日新聞、讀賣新聞

(地方紙) 東京新聞
(英字紙) The Japan Times
(専門紙) 科学新聞、東京大学新聞、図書新聞、日教組教育新聞、日本教育新聞
(海外紙) The New York Times (米)、The Times (英)、Le Monde (仏)、人民日報 (中)、連合報 (台)、東亜日報 (韓)

また、ダイジェスト誌と呼ばれるもので、教育関係の主要記事をとりとまとめた『切抜き速報教育版』、『教育情報パック』が2階で閲覧できます。これには図書館では購読していない地方紙や政党紙なども含まれています。

今では各新聞社もホームページを開いていて、主要新聞社ですとニュースが毎日更新されています。重要ニュースだけでいいなら新聞を購読しなくても済むかもしれません。インターネットに接続できさえすればいいのです。朝一番に図書館にいて、コンピュータでその日のニュースを見るのが日課だ、という人もいます。天気など刻々と変わるものはインターネットの方が速報性に優れています。

こうした新聞社やマスコミ関係のサイトを集めたリンク集で「新聞の街角」は有名です。図書館のホームページにも「他のホームページへのリンク」の中に入れてあります。

4. 図書館の新聞情報 - 特定の日の特定の新聞

新聞に掲載された記事をニュースとしていま利用するのでなく、あとでデータとして利用しようとする場合があります。多少とも近・現代史に関する調査や研究であれば新聞は有用な情報源になります。日本最初の近代新聞は1871年(明治4年)創刊の「横浜毎日新聞」ですが、まさに新聞は日本の近・現代史の生き証人です。

さて、月日の新聞が見たい場合はどうしたらいいのでしょうか？

原紙を保存するのは保管場所をとりますので、先に挙げた「購読中の新聞紙」も縮刷版を購入するものは三月で廃棄し、その他のものも一部を除き3ヵ月～5年保存した後に廃棄しています。

図書館に継続受入中の新聞縮刷版には、『朝日新聞縮刷版』、『毎日新聞縮刷版』、『日本経済新聞縮刷版』、『読賣新聞縮刷版』、『The Japan Times 縮刷版』があ

り、新しいものは2階に、古いものは書庫に置いてありますが、これ以外にも縮刷版やマイクロ版で所蔵しているものがあります。

本学に所蔵されていない場合は、各図書館で発行している雑誌目録や新聞目録で所蔵場所を見つけなければなりません。新聞は保存期間が短いものも多く、皆さんお馴染みの「WEBCAT」にはデータを登録しない場合も多いからです。

縮刷版やマイクロであれば『全国複製新聞所蔵一覧』(図書館にはその旧版の『全国マイクロ新聞所蔵一覧』を所蔵)で所蔵調査ができます。東京大学には明治新聞雑誌文庫という施設があり、明治期の新聞なら『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』(029.61/36-31)が役に立ちます。アジアの新聞であれば『中国文雑誌・新聞総合目録』(029/A92)などがあります。東京西地区の大学図書館では『外国新聞所蔵目録』(029.71/To46)を共同で作成しています。

所蔵場所が判明したら、新聞の利用では直接向いて閲覧するという場合も多いようです。紹介状の発行は図書館2階の相互利用カウンターで取り扱っています。

5. 図書館の新聞情報 - 新聞記事を探す

何かの出来事に関しての記事を探すとき、掲載日や掲載紙がはっきりしていない場合はどうしたらいいのでしょうか？

大体の日付がわかっているれば新聞縮刷版をみるのが早いようです。縮刷版は毎月発行されており、記事の見出しが索引されていて、検索できるようになっています。しかし曖昧ならば、その事件や出来事の日付を先ず調べる必要があります。

このとき各種の年表や年鑑が役に立ちます。新聞社では前年の出来事を取りまとめ解説や展望などをつけた年鑑を発行していて、これに主な出来事の日付が記録されています。図書館では『朝日年鑑』(P-9/1)と『読賣年鑑』(P-9/4)を継続して購入しています。

新聞の記事索引も作られています。朝日新聞については冊子体の『朝日新聞記事総覧』(071/A82)、CD-ROMの『CD-ASAX 戦後50年朝日新聞記事見出しデータ』、そしてインターネットの『DNA』を備えていて、それぞれ1919(大正8)年～1971(昭

和46)年、1945年～1995年、1984年8月以降をカバーしています。DNAは記事本文も読めるのが特徴というわけです。

他の新聞社のはこれらの資料で日付のあたりをつけおいて、縮刷版を調べるということになります。最近の記事であれば毎日新聞社や日本経済新聞などはそれぞれのホームページ上で記事検索ができます。もちろん海外の新聞社のホームページでも記事検索できるものがあります。

戦前の出来事の日付を探すなら、『明治ニュース事典』(210.603/Me25)『大正ニュース事典』(210.6903/Ta24)『昭和ニュース事典』(210.703/Sh97)が使いやすく、「ニュース事典」だけでも記事

の抄録がでていきますので概要がつかめます。しかし記事そのものを見るには、『新聞集成明治編年史』、『新聞集成大正編年史』、『新聞集成昭和編年史』(書庫 210.6/Sh46)が便利です。これは各年毎に主要な出来事について各紙の記事を影印して編集したものです。この他にも特定の主題に基づいて編集された「新聞集成」が出版されている場合もあります。

*ここで取り上げた資料で所在を明示していないものは、図書館2階の参考図書コーナーにあります。

(金子俊明 情報サービス課参考調査係長)

お知らせコーナー

飲物の自動販売機が入りました！

附属図書館1階、新聞閲覧室内に、飲物の自動販売機を設置しました。ただし、購入した飲物を飲むことができるのは、新聞閲覧室の中だけです。

図書館のそれ以外の場所(閲覧席、共同学習室など)は、従来どおり飲食厳禁ですので、注意して下さい。

本学刊行物の配置場所が変わりました - 学内刊行物の寄贈をお願いします

本学刊行物の配置を2階の大学紀要類の先頭から、2階の参考図書の先頭(視聴覚コーナーに面した書架)に移しました。これは本学刊行物の今後の増加に対応するためのものです。

本学刊行物には本学の公式出版物以外に学内研究会の出版物や本学教官が関与した科学研究費成果報告書なども含まれます。本学に関する出版物を完全に収集し利用者に提供するの図書館のつとめと思っておりますが、公式出版物でもすべて収集しているとはいえない状況です。

完全に学内刊行物を収集するためには皆様のご理解とご協力が必要です。刊行物を作成された場合、図書館に複数部ご寄贈下さるようお願いいたします。

図書館ニュースVOL.28はNo.1とNo.2で完結といたします。

平成 11 年度基本的学術図書購入決定リスト

1. 雑誌記事索引 遡及版 1975-1979、1980-1984 (CD-ROM)
2. 木簡研究 1-19
3. Nuclear weapons, arms control and the threat of thermonuclear war. Special Studies, 1969-1995. Basic set, 1969-1981 (マイクロ)
4. Research in text theory vols.1-23 (テキスト理論研究叢書)
5. DELSILIFE (マイクロ)
6. Enciclopedia dell'arte antica classica e orientale 17 vols.
7. Journal of cultural economics vols.1-21
8. 中國科學技術典籍通彙 天文編 (8分冊) 数学編 (5分冊)
9. Bulletins of the U.S.Bureau of Labor and the U.S.Bureau of Labor statistics 1895-1916 (マイクロ)
10. 明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成 人文科学編
11. Journal of gerontology, section B vols.40-52
12. Pragmatics. 6 vols. (語用論 全6巻)
13. 気象庁天気図 1989.3-1998.7 (CD-ROM)
14. 文教の朝鮮 前期 全44巻
15. Schools of thought in sociology 12 vols.
16. 旧植民地人事総覧 全16巻
17. Modernity.(Critical Concepts) 4 vols.
18. 明治前期民情調査報告『偵察録』(マイクロ)
19. 二十四史外編

学生用視聴覚資料の購入について

平成 11 年度第 1 回目の学生用視聴覚資料として下記を選定しました。既蔵のものと一緒にご利用下さい。なお、今年度の学生用図書購入費は減少となっていますが、今後ともできるだけ皆さんの見たいもの、聞きたいものを重点に購入していきたいと思っています。購入希望があれば 2 階の視聴覚資料コーナーに置いてある「学生購入希望視聴覚資料調査票」に記入して投書箱に入れて下さい。

< ビデオ >

- ・ ユネスコ・世界遺産 (全 36 巻) ポリグラム
- ・ 図書の修復 (全 1 巻) 東京都映画協会
- ・ ローマの休日 ビクターエンタテインメント
- ・ ルディ 涙のウィニングラン ソニピクチャーズエンタテインメント

< LD >

- ・ アジアの音楽と文化 (全 6 枚) ビクターエンタテインメント
- ・ ナイトメア・ピフォー・クリスマス パイオニア LDC

平成11年度後期図書館暦(10月～3月)

日	10月		11月		12月		1月		2月		3月		日
1	金		月		水		土	元旦・年始休館	火		水		1
2	土		火		木		日	年始休館	水		木		2
3	日		水	文化の日	金		月	年始休館	木		金		3
4	月		木		土		火	休館	金		土		4
5	火		金		日	臨時休館	水	休館	土		日		5
6	水		土		月		木		日		月		6
7	木		日		火		金	授業再開・延長再開	月		火		7
8	金		月		水		土		火		水		8
9	土	臨時休館	火		木		日		水		木	延長終了	9
10	日	体育の日	水		金		月		木	後期授業終了	金	休館：東京学芸大学入学試験(後期)	10
11	月	臨時休館	木		土		火		金	建国記念の日	土		11
12	火		金		日		水		土		日		12
13	水		土		月		木		日		月		13
14	木		日		火		金	休館・入試試験準備	月	教育実習再開	火		14
15	金	教育実習終了	月		水		土	休館：大学入試センター試験	火		水		15
16	土		火		木		日		水		木		16
17	日		水		金		月		木		金		17
18	月	後期授業開始	木		土		火		金		土	休館	18
19	火		金		日		水		土		日	休館	19
20	水		土		月		木		日		月	休館・春分の日	20
21	木		日		火		金		月		火		21
22	金		月		水		土		火		水		22
23	土		火	臨時休館	木	臨時休館	日	臨時休館	水	休館・館内整理	木		23
24	日		水	休館・館内整理	金	休業前授業終了・延長終了	月		木	休館：東京学芸大学入学試験(前期)	金		24
25	月		木		土	休館	火		金		土	休館	25
26	火		金		日	休館	水	休館・館内整理	土		日	休館	26
27	水	休館・館内整理	土		月	休館	木		日		月		27
28	木		日		火	休館	金		月		火		28
29	金		月		水	年末休館	土		火		水	休館・館内整理	29
30	土		火		木	年末休館	日				木		30
31	日				金	年末休館	月				金		31

* 臨時休館日については、その都度掲示しますので、ご注意ください。

授業期 平日(月～金) 開館時間 9:00～22:00

休業期 平日(月～金) 開館時間 9:00～17:00

土・日・休日 開館時間10:30～16:30

編集発行 東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

電話 042-329-7223

FAX 042-329-7226